

薬学研究科

学位プログラム： 医療薬学

授与する学位： 博士（薬学）

教育目標

大阪大学及び薬学研究科の教育目標のもと、医療薬学専攻では、世界をリードする先導的医療人の輩出を目指して、卓越した「創薬臨床力」を有する人材を育成します。すなわち、優れた研究能力に裏打ちされた高度かつ多様な知識や技能を有し、医療・臨床薬学、トランスレーショナルリサーチ、医薬品開発研究の最先端でグローバルに活躍し、医療現場における臨床的な課題を主導的に解決できる高度研究型薬剤師の輩出を目指します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・医療・臨床薬学における幅広く深い知識を基盤に、将来最先端の先進医療を担うことができる卓越した「創薬臨床力」を養成します。

○高度な教養

- ・多様化・複雑化する臨床的な課題の解決に向けて、主導的かつ意欲的に取り組むことができる薬学領域、特に医療・臨床薬学の深い知識を修得させ、複眼的・俯瞰的な思考力を養成します。
- ・研究者としての創造性あふれる豊かな人間性と卓越したリーダーシップ、医療人としての強い使命感と優れた倫理観を涵養します。

○高度な国際性

- ・将来、先進医療の最前線や研究、教育、行政等において指導的立場で国際的に活躍するために必要な、世界の医療情勢を俯瞰し、最先端の薬物治療や医療技術開発等に関する研究を主導できる優れた国際的な競争力を持つ人材を養成します。

○高度なデザイン力

- ・ローカル及びグローバルな薬学的課題、特に臨床的な課題を深く探求し、協調的かつ主導的にその解決策を見出すことができ、さらにその高度化を図ることができる高度デザイン力を養成します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び薬学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、医療薬学専攻では、世界をリードする先導的医療人の輩出を目指して、卓越した「創薬臨床力」を有する人材を育成するという教育目標に基づいて、優れた研究能力に裏打ちされた高度かつ多様な知識や技能を有し、医療・臨床薬学、トランスレーショナルリサーチ、医薬品開発研究の最先端でグローバルに活躍し、臨床的な課題を主導的に解決できる高度研究型薬剤師を育成します。すなわち、医療の現場はもとより医療・臨床薬学の最前線の研究や医薬保健行政、品質保証・薬事を含めた医薬品開発の入口から出口において、国際的舞台上で指導的な立場で活躍し、薬物治療・医療技術の科学的評価と最適化、さらには新規開発に寄与できる「創薬臨床力」を備え、さらに発展させることができる人材の育成を実践します。

学習目標に掲げる「最先端かつ高度な専門性と深い学識」、「高度な教養」、「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」を達成して所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、論文の審査及び最終試験に合格し博士課程を修了した者に博士（薬学）の学位を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・医療・臨床薬学における幅広く深い知識を基盤に、将来最先端の先進医療を担うことができる卓越した「創薬臨床力」を身につけ、高度研究型薬剤師として先進医療における次世代の薬物治療・医療技術の開発とその発展を担うことができる。

○高度な教養

- ・多様化・複雑化する臨床的な課題の解決に向けて、主導的かつ意欲的に取り組むことができる薬学領域、特に医療・臨床薬学の深い知識と複眼的・俯瞰的な思考力を身につけている。
- ・研究者としての創造性あふれる豊かな人間性と卓越したリーダーシップ、医療人としての強い使命感と優れた倫理観を身につけている。
- ・これらの資質・能力を生かして、臨床的課題の解決を指導的な立場で推進できる。

○高度な国際性

- ・将来、先進医療の最前線や研究、教育、行政等において指導的立場で国際的に活躍するために必要な、世界の医療情勢を俯瞰し、最先端の薬物治療や医療技術開発等に関する研究を主導できる優れた国際的競争力を身につけている。
- ・これらの資質・能力を生かして、高度グローバル薬学人材として活躍できる。

○高度なデザイン力

- ・ローカル及びグローバルな薬学的課題、特に臨床的な課題を深く探求し、協調的かつ主導的にその解決策を見出すことができ、さらにその高度化を図ることができる。

- ・ローカル及びグローバルな臨床的な課題の解決策を指導的な立場で実践することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び薬学研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、医療薬学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げた「最先端かつ高度な専門性と深い学識」、「高度な教養」、「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」を修得するために、博士課程において選択必修科目、必修科目を体系的に編成しています。博士課程を修了するためには、1～4年で合計30単位以上の取得が必要となります。

<教育課程編成の考え方>

ディプロマ・ポリシーに掲げた「最先端かつ高度な専門性と深い学識」、「高度な教養」、「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」について、それぞれの学習目標の修得を目的とした科目を体系的に配当することにより教育課程の編成を行います。

それぞれの学習目標の修得について、「最先端かつ高度な専門性と深い学識」は、選択必修科目及び必修科目によって修得します。

「高度な教養」は、選択必修科目、必修科目、選択科目によって修得します。

「高度な国際性」は、選択必修科目、必修科目、選択科目によって修得します。特に「グローバル大学院薬学演習」は本資質・能力の修得に特化した科目として配当されています。

「高度なデザイン力」は、選択必修科目及び必修科目によって修得します。

<学修内容及び学修方法>

「最先端かつ高度な専門性と深い学識」、「高度な教養」、「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」の修得に向けて、それぞれの学習目標の修得に係る科目については、学習目標への到達に適した学修方法として、PBL・アクティブラーニング、自己学修を取り入れた講義、演習や、実習、実験、研修等を行います。また、適宜こういった学修方法を組み合わせて授業を行います。

<学修成果の評価方法>

全ての開講科目について、それぞれの学習目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して学生に周知し、学修成果を厳格かつ公正に評価します。特に、知識（授業等）だけではなく大学院教育においてさらなる高度化を図るべき技能や思考力・判断力・表現力、協働して学ぶ態度の修得・醸成を行う演習科目や実習科目等（研究指導）については、科目の学習目標や修得すべき資質・能力に合わせた適正な学修成果の評価を行います。

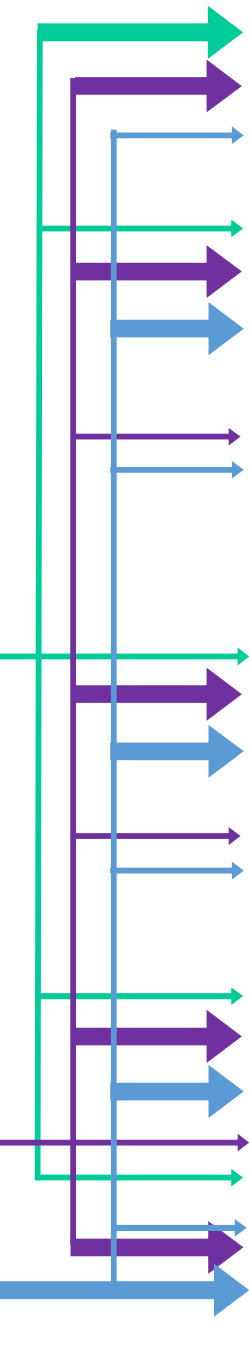
大学院・医療薬学専攻

博士課程1年		博士課程2年		博士課程3年		博士課程4年	
I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
薬品製造化学特別講義				医薬合成化学特別講義			
生物有機化学特別講義				天然物創薬学特別講義			
生物物理化学特別講義				分子細胞生物学特別講義			
疾患生体応答学特別講義				分子病態生理学特別講義			
未来医療学特別講義				先端生命科学特別講義			
衛生薬学特別講義				医療薬学特別講義			
伝統医薬解析学特別講義				医薬基盤科学特別講義			
レギュラトリーサイエンス特別講義				医薬品医療機器評価学特別講義			
創薬サイエンス特別講義				発展途上国におけるグローバル健康環境の課題と対策			
ゲノム医薬品学特論				ゲノム医療体内動態解析学特論			
ゲノム医療評価統計学特論				先進がん薬物療法副作用学特論			
先端緩和医療薬物学特論				知的財産入門			
グローバル大学院薬学演習				法中毒学演習			
法中毒学演習2				法臨床中毒学			
薬物機器分析特論							
特別演習							
がん基盤研究特別演習							
がん臨床研究特別演習							
医療薬学ゼミナール1		医療薬学ゼミナール2		医療薬学ゼミナール3			

選択必修科目
(8単位以上)

選択必修科目
(7単位以上)

必修科目
(15単位)



卓越した「創薬基盤技術力」を身につけ次世代の「ものづくり(創薬)」を担うことができる	深い学識と専門性と高度な最先端かつ
深い知識と複眼的・俯瞰的な思考力を身につけている	
豊かな人間性と卓越したリーダーシップ・強い使命感・高い倫理観を身につけている	
地球規模課題の解決を指導的な立場で推進できる	高度な教養
最先端の研究を主導できる優れた国際的競争力を身につけている	高度な国際性
修得した資質・能力を生かして高度グローバル薬学人材として活躍できる	
協調的・主導的に薬学的課題の解決策を見出し、さらにその高度化を図ることができる	高度なデザイン力
地域・グローバルな薬学的課題の解決策を指導的な立場で実践することができる	